

プラント災害シミュレーション

サポートプランのご案内

～フルサポート／パーシャルサポート～

2026 年 1 月
株式会社 FPEC

お客様の状況やご予算に合わせてお選びいただける、**2つのプラン**をご用意いたしました。「評価・計算の工数を削減したい」「専門家のアドバイスを受けながら計画を立てたい」といったご要望にお応えします。

「どちらのプランが自社に適しているかわからない」という場合も、まずはお気軽にお問合せください。課題をお伺いし、どちらのプランがより最適かをご提案させていただきます。

1. フルサポートプラン（一任型）

～ワンストップですべてを完結。条件設定から報告書作成まで一括お任せください。～

- **こんな方におすすめ：**

専門知識を持つ担当者が不在で、ゼロから進め方が分からない
プロジェクトが山積みで、まるごと信頼できるプロに任せたい
妥当性の高い、質の高い最終報告書をそのまま社内・顧客へ提出したい

- **メリット：**

専門家の知見をフル活用し、技術的な妥当性を担保
社内リソースを消費せず、プロジェクトのスピードを最大化

- **ご提供する成果物：**

検討報告書
付属書（シミュレーション結果詳細）※想定シナリオに応じて異なります。

2. パーシャルサポートプラン（共創型）

～ 専門性の高い計算業務をピンポイントでお任せください。貴社が注力すべき業務を強
かにバックアップします。～

- **こんな方におすすめ：**

条件設定や考察は自社でやりたいが、単純な計算リソースが足りない
 特定の解析ソフトや高度な計算環境だけをスポットで利用したい
 予算を抑えつつ、ボトルネックとなっている作業だけを効率化したい

- **メリット：**

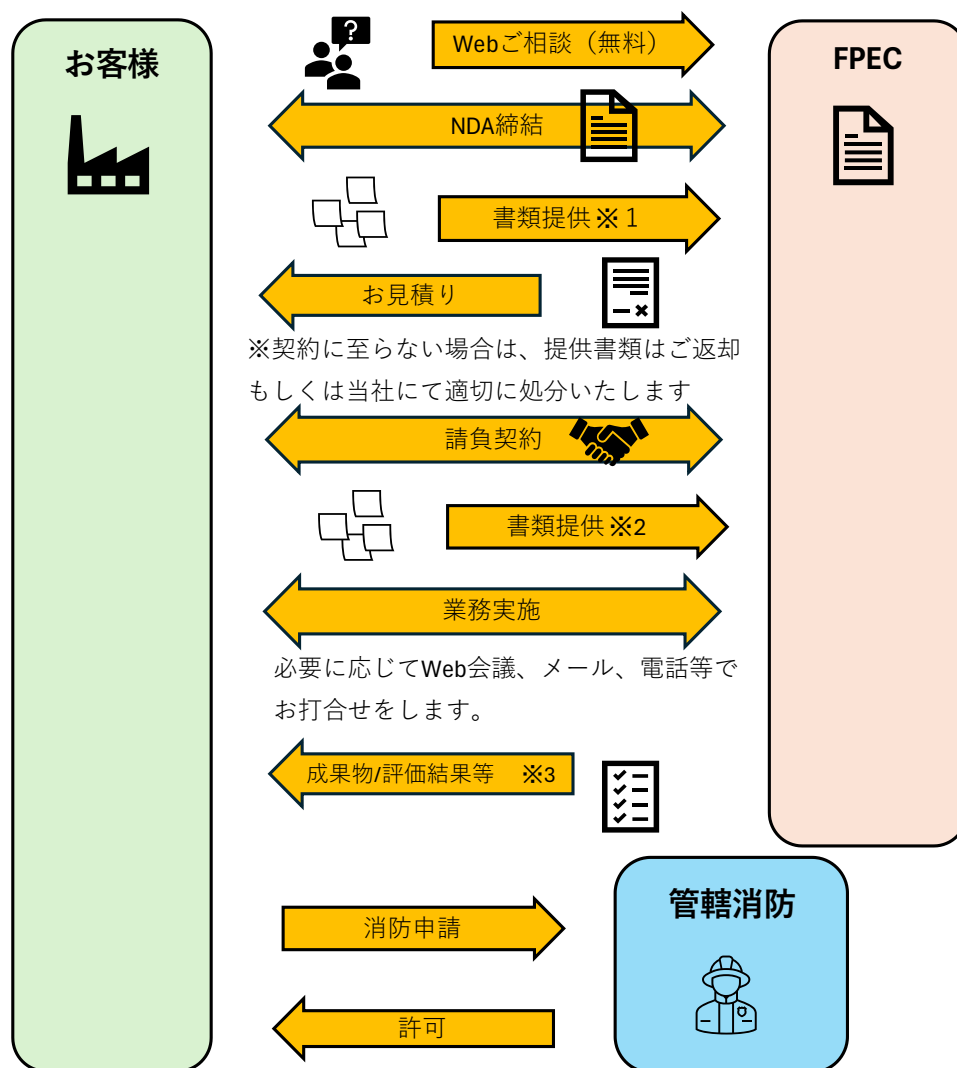
外注コストを最小限に抑え、予算内でプロジェクトを完結
 コアとなる判断（条件設定や考察）を社内で行うため、ノウハウが蓄積される

- **ご提供する成果物：**

評価方法説明資料

影響範囲マップ等（※シミュレーション内容により加除あります）

【基本業務フロー】



【必要資料と成果物】

プランに応じた、お客様より見積、評価時にご提示いただく資料、弊社からご提示する成果物の一覧となります。

A. フルサポートプラン

1. 見積に必要な資料	①漏洩源となる対象の機器図・系統図・配置図 ②貯蔵物質の物性データ ③大気条件ケース
2. 評価に必要な資料	①対象周りの配置図 ②防油堤/防液堤の高さと構造 ③着火が予想される周辺施設等の場所 ④配管サービスクラス ⑤安全弁等のデータ ⑥大気条件（風向・風速・気温・湿度等）
3. 成果物	①検討報告書 ②付属書（シミュレーション結果詳細） a. 漏洩量・ガス発生量の経時変化データ b. ガス拡散マップ（時間経過ごとの濃度マップ） c. フラッシュファイア発生範囲マップ d. 火災による輻射強度マップ e. 爆発による圧力波マップ f. ファイアーボールによる輻射強度マップ 等 ※想定シナリオに応じて加除があります。

B. パーシャルサポートプラン

	ガス拡散シミュレーション	輻射熱シミュレーション
1. 見積に必要な資料	①放出箇所 ②ガスの組成およびデータ ③漏洩ガス量とガス温度の経時変化データ ④もし漏洩が止められる場合、停止までの時間 ⑤大気条件ケース ⑥その他 計算方法など	①機器図・配置図・設置高さ ②火災面積（タンク・防油堤など）がわかる資料 ③燃焼物の物性データ ④大気条件ケース ⑤その他 計算方法など
2. 評価に必要な資料	①大気条件（風向・風速・気温・湿度等） ②放出口径・放出高さ ③周辺地図	①大気条件（風向・風速・気温・湿度等） ②周辺地図 ③輻射強度マップに表示する受熱面高さ
3. 成果物	①評価方法説明資料 ②ガス拡散マップ（時間経過ごとの濃度マップ）	①評価方法説明資料 ②火災による輻射強度マップ

	爆発シミュレーション (BLEVE)	爆発シミュレーション (VCE)
1. 見積に必要な資料	①機器図・配置図・設置高さ ②爆発発生時の、容器内の圧力・温度・液量データ ③貯蔵物質の組成およびデータ ④大気条件ケース ⑤その他 計算方法など	①機器図・配置図・設置高さ ②漏洩源となる容器のデータ ③貯蔵物質の組成およびデータ ④大気条件ケース ⑤その他 計算方法など
2. 評価に必要な資料	①大気条件（風向・風速・気温・湿度等） ②周辺地図	①大気条件（風向・風速・気温・湿度等） ②周辺地図
3. 成果物	①評価方法説明資料 ②爆発による圧力波マップ ③ファイアーボールによる輻射強度マップ	①評価方法説明資料 ②爆発による圧力波マップ

	ボイルオーバー
1. 見積に必要な資料	①タンクの図面・配置図 ②大気条件ケース
2. 評価に必要な資料	①大気条件（気温・湿度等） ②油の蒸留データ ③火災時の油面高さ・水層の管理高さ ④周辺地図
3. 成果物	①評価方法説明資料 ②ボイルオーバー発生予測結果図 ③バーニングフロス飛散範囲マップ ④バーニングフロスによる輻射強度マップ